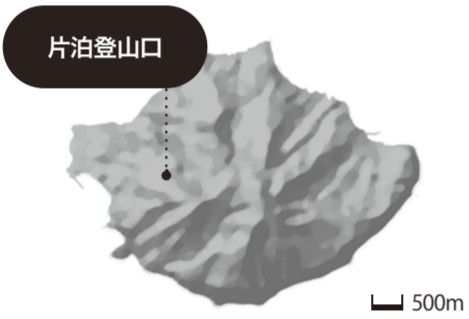




3



鹿兒島市六〇代 男性
 「畑仕事で葉蘭の根もとを掘って花を見つけた。撮影日は九月末です。咲く時期がわからないので貴重な出来事でした。」

思い出話

葉が大きく頑丈で匂いもないため皿の役割もする。そのため薩摩の武家屋敷には必ず植えてあった。右中上の写真は旧島津氏玉里邸庭園の葉蘭。また寿司では葉蘭を包丁で細工して飾りする。弁当の「パン」は、その飾りを模したもの。

葉は長さ三〇〜五〇cm程度で硬くてつやがある。森の地表面に大柄な葉を並べて群落を作る。花は肉質で地面近くに咲く。右上写真では右上側に実もみれる。花粉の媒介は虫が行うと思われる。

片泊

葉蘭(はらん)

黒島は三島のなかでも島が古く植物が多様である。また、地理的な特性から本土で自生しない植物も多く、葉蘭はその一つ。名前は中国語の「馬蘭(ぼらん)」に由来し、中国原産とされていた。しかし鹿児島大学の研究で、黒島、諏訪之瀬島、鹿兒島西方の宇治群島が原産と判明した。特に黒島は世界でも珍しい大きな群落がある。右下写真「片泊登山口」は取材地。

日	月	火	水	木	金	土
28	1 旧 1/18	2 旧 1/19	3 旧 1/20	4 旧 1/21	5 旧 1/22	6 旧 1/23 ● 下弦
7 旧 1/24	8 旧 1/25	9 旧 1/26	10 旧 1/27	11 旧 1/28	12 旧 1/29	13 旧 2/1 ● 新月
14 旧 2/2	15 旧 2/3	16 旧 2/4	17 旧 2/5	18 旧 2/6	19 旧 2/7	20 旧 2/8 ● 春分の日
21 旧 2/9 ● 上弦	22 旧 2/10	23 旧 2/11	24 旧 2/12	25 旧 2/13	26 旧 2/14	27 旧 2/15
28 旧 2/16	29 旧 2/17 ○ 満月	30 旧 2/18	31 旧 2/19	1	2	3